

要請番号 (JL00626A14)



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
インドネシア	G129 アーチェリー	20~45歳のみ	個別	交替2代目	2年	・2026/3・2027/1・2027/2

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育・文化・研究・技術省

2) 配属機関名 (日本語)

ジョグジャカルタ大学

3) 任地 (ジョグジャカルタ特別州ジョグジャカルタ市) JICA事務所の所在地 (中央ジャカルタ市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機+バスで約3.0時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

1964年に創立され、教育学、理学、工学、社会学、文学、経済学部などの7学部がある総合大学。うち要請元のスポーツ健康科学学部は、ガジャマダ大学に1951年よりあった体育教員養成学部からジョグジャカルタ大学に移り、現在はスポーツ科学、スポーツ教育学、小学校体育学、スポーツコーチ学の4学科で構成されている。学生はスポーツに関する理論と実践を学び、卒業後にスポーツビジネスや体育教育に携わる。学生数は約1200名。教員は約110名。初代隊員が活動中。(2026年9月まで)

【要請概要】

1) 要請理由・背景

インドネシアの宗教的伝統文化から、アーチェリーは乗馬、水泳と並ぶ人気の3大スポーツであり、地域のアーチェリー競技人口は約900人と多い。大学のクラブ卒業生から2020東京オリンピック選手も輩出された。国民的人気スポーツを更に普及強化する上での課題に、弓具のチューニング技術の向上があげられている。競技成績を決めるうえで重要な要素であるチューニング技術を学ぶため、隊員の継続要請が上がった。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

1.月・水・土曜日の16~18時に6~13歳のジュニア世代向けの練習を主に担当し、同僚コーチと共に選手の競技能力向上を支援する。
2.リカーブボウ(弓)の基本チューニング(弓のセンターショット調整、ストリングハイト調整、ティラーハイト調整、ポンド調整、矢のセンターショット調整、矢のスパイン調整)を各調整ごとに分けて指導し、物理的な因果関係をデモンストレーションによって解説しながら、選手が自ら調整できるように支援する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

70mオリンピック競技用ターゲット13レーン、各種防具と弓矢は選手負担、的観測単眼鏡

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:9名(女性2名、男性7名)

活動対象者:男子35名、女子35名、7~18歳、レベルは初心者から競技経験6年程度。

5) 活動使用言語

インドネシア語

6) 生活使用言語

インドネシア語

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許/資格等]： ()

[学歴]： (大卒) 備考：大学で教えるため

[性別]： () 備考：

[経験]： () 備考：

[参考情報]：

- ・特記事項参照

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]： (熱帯モンスーン気候) 気温： (25～35℃位) [電気]： (安定)

[通信]： (インターネット可 電話可)

[水源]： (安定)

【特記事項】

(公社)全日本アーチェリー連盟会員登録7年以上及び同上連盟アウトドア・リカーブ70mラウンド、フルスターバッチ以上取得必須。インドネシア側の査証手続きの都合上、他国同隊次より赴任時期が1～2か月遅れます。自衛隊勤務経験者及び海外での軍歴保持者には査証発行されないため、応募不可です。

【類似職種】